

## 校 則 ・ 規 則

本校での高校生活の中で「確かな学力」を身につけ、社会で通用する生活習慣を会得していくためには、落ち着いて学習でき、規則正しい生活を営むことのできる環境が大切です。生徒集団そのものが教育を受けるにふさわしいものであることが重要です。

### (1) 服装規定

服装は端正・清潔・質素であること。その基準は次のとおりである。

#### ア 制服（学校指定）

ブレザー、スラックス、スカート、ネクタイ、長袖・半袖シャツ（シャツインタイプ）、ベルトセーター、ベスト、半袖シャツ（シャツアウトタイプ）、リボン

※式典など学校が指定した際には、リボンではなくネクタイとする。

#### イ 期 間

冬季服装（10月1日～5月31日） 指定のブレザー、ネクタイ（もしくはリボン）を着用

夏季服装（6月1日～9月30日） 指定の半袖シャツを着用。ネクタイの着用は自由だが、式典など学校が指定した際には、着用しなければならない。

移行期間（5月末・9月末） 冬季・夏季いずれの服装でもよい。

学校が指定するセーター（ベスト）での通学も認める。

#### ウ 靴 下

学校推奨の靴下（紺色）を基本とし、黒色、白色も可とする。

#### エ 靴

(1) 通学用 学校推奨・それに準ずる革靴（合成皮革類も可）、または運動靴。積雪など悪天候の場合にはこの限りではない。ただし、華美にならないように注意すること。スリッパ、サンダルなど、上記の靴以外での通学は認めない。

(2) 上 靴 学校で指定された靴（学年色別）とする。

#### オ その他

(1) ストッキング・コート類は、華美にならないものを着用する。

(2) コート類・パーカー・マフラー・手袋などの教室内での着用は原則として認めない。

(3) 頭髪は、パーマメント・ヘアーエクステンション・ウィッグ・染色等の加工などは一切してはならない。

(4) 化粧（口紅、香水等を含む）及び装飾品（ピアス・指輪・カラーコンタクト等を含む）は認めない。

注：変形された制服、装飾品等は学校で預かる指導をしています。頭髪加工等については、改善することを求めます。必要と判断すれば、帰宅して改善するように指導することがあります。

# W I N T E R

## 【ブレザースタイル】

### ■ブレザー

シンプルなシングル2つボタンジャケット。ボタンをきちんととめて着用しましょう。  
【エンブレム】ローマ字で校名が入ります。

### ■ネクタイ

とめつけが簡単なワンタッチタイプ。シャツの第一ボタンの上に金具がくるよう、きちんとつけましょう。

### ■シャツ

第一ボタンをとめてスラックスの中に入れて着ましょう。

### ■袖口

シャツの袖口ボタンをとめて、長すぎず短すぎず、きちんと見えるように着ましょう。

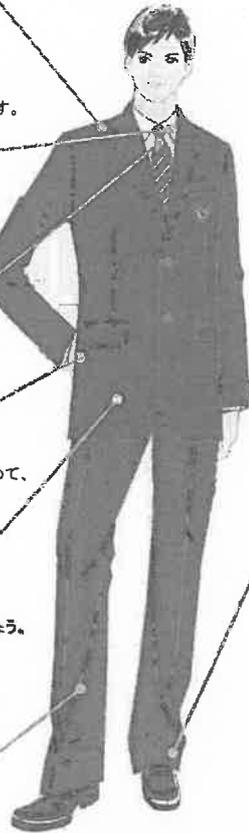
### ■ベルト

黒色のベルトをつけましょう。



### ■スラックス

ウエストの位置ではき、ベルトをしめましょう。



### ■ブレザー

シンプルなシングル2つボタンジャケット。ボタンをきちんととめて着用しましょう。  
【エンブレム】ローマ字で校名が入ります。

### ■ネクタイ

とめつけが簡単なワンタッチタイプ。ブラウスの第一ボタンの上に金具がくるよう、きちんとつけましょう。

### ■ブラウス

第一ボタンをとめてスカートの中に入れて着ましょう。

### ■袖口

ブラウスの袖口ボタンをとめて、長すぎず短すぎず、きちんと見えるように着ましょう。

### ■スカート

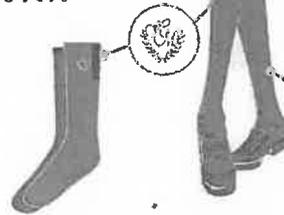
スカート丈は、ひざ中心。バランスよく着こなしましょう。裾にピンク色で刺繍が入ります。

### ■ハイソックス

紺色のハイソックス。黒色・白色も可です。

### ■ソックス

紺色のソックス。黒色・白色も可です。



リボン・スラックススタイル

移行期間

【セーター着用スタイル】

■セーター

赤と白のラインがポイントのセーター。指定のものを着用しましょう。左胸に刺繍が入ります。



■セーター

赤と白のラインがポイントのセーター。指定のものを着用しましょう。左胸に刺繍が入ります。



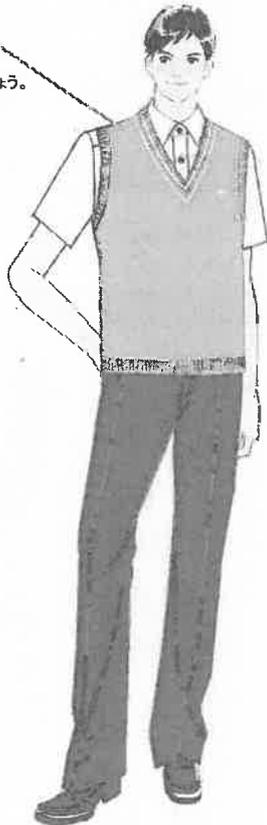
移行期間

【ベスト着用スタイル】

紺・グレータイプがあります。

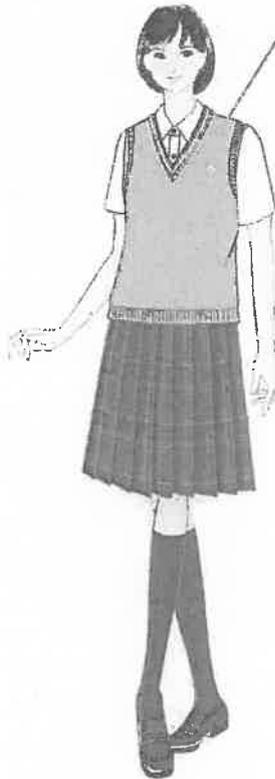
■ベスト

赤と白のラインがポイントの夏用ベスト。指定のものを着用しましょう。左胸に刺繍が入ります。

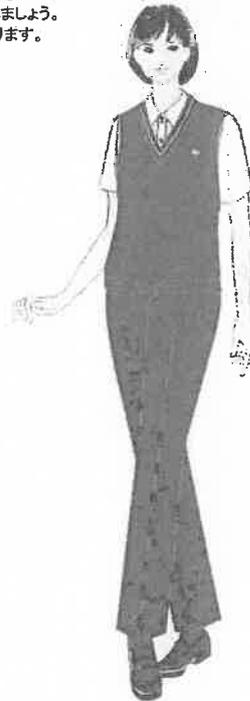


■ベスト

赤と白のラインがポイントの夏用ベスト。指定のものを着用しましょう。左胸に刺繍が入ります。



スラックススタイル



S U M M E R

【半袖スタイル (基本)】

■半袖シャツ  
第一ボタンをとめて  
スラックスの中に入れて  
着ましょう。

■エンブレム  
*Eijashi Mizumi*  
ローマ字で校名が入ります。

■ベルト  
黒色のベルトをつけましょう。



■スラックス  
ウエストの位置ではき、  
ベルトをしめましょう。

■半袖ブラウス  
第一ボタンをとめて  
スカートの中に入れて  
着ましょう。(ウエスト下の  
飾りベルトが見えることが  
ポイントです)。

■エンブレム  
*Eijashi Mizumi*  
ローマ字で校名が入ります。

■スカート  
スカート丈は、ひざ中心。  
バランスよく  
着こなしましょう。  
裾にピンク色で刺繍が  
入ります。

■ソックス  
紺色のソックス。  
黒色・白色も可です。



■ハイソックス  
紺色のハイソックス。  
黒色・白色も可です。

S U M M E R

【半袖シャツアウトスタイル (オプション)】

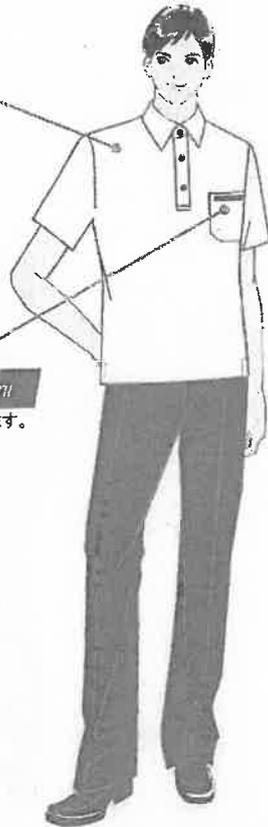
■半袖シャツ  
シャツの裾を  
スラックスの外に出して  
着るスタイルです。

■エンブレム  
*Eijashi Mizumi*  
ローマ字で校名が入ります。

■半袖ブラウス  
ブラウスの裾を  
スカートの外に出して  
着るスタイルです。

■エンブレム  
*Eijashi Mizumi*  
ローマ字で校名が入ります。

スラックススタイル



## (2) 自転車通学

多くの生徒が登下校に自転車を利用している本校において、自転車の事故防止と運転マナーの向上は重要な問題です。

### 注意事項

- ア 通行区分を守り、他の人の通行を妨害しないように一列で走行をする。
- イ 二人乗り、傘さし運転は絶対しない。
- ウ 夜間の無灯火運転をしない。
- エ スピードの出しすぎ、信号無視、無謀運転をしない。
- オ イヤホン等で音楽等を聴きながらの運転をしない。
- カ 携帯電話を操作しながらの運転をしない。
- キ 常に自転車の整備、点検をしておく。

(注：自転車の二人乗り、傘さし運転は特別指導の対象となります。)

自転車通学をする場合は、鍵がかかり（ツーロックがのぞましい）、ライトが点く自転車を用意し、学校所定の許可ステッカーをつけてください。自転車を変更又はステッカーを紛失した場合は生徒指導部へ届け出て、再交付を受けてください。また、傘さし運転を防止するため、雨合羽の着用を義務付けています。自転車による重大事故等を防ぐためにヘルメットを正しく着用しましょう。

## (3) バイクの免許取得

東舞鶴高校PTAは、学校・家庭・地域・関係機関と緊密に連絡をとりながら、「四ない運動」プラス1を実行しています。

「四ない運動」プラス1とは、

- <1> 「運転免許を取らない」
- <2> 「バイクを買わない」
- <3> 「バイクに乗らない」
- <4> 「バイクに乗せてもらわない」
- <プラス1> 「子どもの要求に負けない」

したがって、学校としても以下の方針で指導します。

- ア 基本的には免許証を取得させない。
- イ 遠隔地からの通学生については第2学年より、バイク（原付）通学を許可します。遠隔地とは、栃尾、下佐波賀、舞鶴自然文化園以遠、鎌倉口以遠、松尾寺と西舞鶴地区の加佐中学校区です。（遠隔地の確認は生徒指導部に問い合わせてください。）

(注：無断でバイクの免許証を取得することは、特別指導の対象となります。)

#### (4) アルバイト

原則としてアルバイトは禁止ですが、経済的な理由等で許可する場合があります。保護者等としっかり話し合っ、担任に相談してください（1年生の1学期中間考査までは、どのような理由であろうと許可していません）。

##### 禁止アルバイト

以下のようなアルバイトは、許可しません。

ア 旅館、民宿等の泊まり込みのアルバイト

イ 午後7時以降のアルバイト

ウ 居酒屋等酒類を主に扱う店やパチンコ店等娯楽業でのアルバイト

エ 仕事内容が危険を伴うもの

オ 労働基準監督署が禁じているアルバイト

(注：届出・許可なしのアルバイトは、特別指導の対象となります)

#### (5) 飲酒・喫煙・薬物乱用・万引き等

校内外を問わず、法律に違反する行為は許されません。軽い気持ちで法律違反を犯し、一生を棒に振るようなことがないようにしましょう。

(注：特別指導の対象となります。)

#### (6) 生活の基本

ア 学期中の平日は、登下校の時間を守り、交通安全に注意し、校則を守って学校生活に最重点をおくこと。

イ 放課後・休日も東高生としての自覚を忘れず、社会の一員として常識を持って過ごすこと。

ウ 長期休業中（夏休み、冬休み、春休み）もルーズな生活をせず、規則正しい生活を心掛けること。

エ その他

○ 校内には文房具等の購買部はありません。

○ パン等の軽食は昼休みに売店で販売をしていますが、昼食はなるべく弁当を持参してください。登校後の外出は原則として禁止をしています。

○ スマートフォン等の持込み・使用は「授業中は電源を切りカバンの中に入れておく」という最低限のマナーを守ることを条件に認めています。

(注：教員の指導に反して授業中のスマートフォン等の使用が発覚した場合は、下校時まで学校で預る指導をすることがあります。使用を繰り返すと、特別指導の対象となります。)

## 6 自主活動

### (1) ホームルーム活動

—— 楽しいホームルームをめざして ——

皆さんは、中学校でのホームルーム活動を通して、ホームルールづくり、仲間づくりに励んできました。ホームルームが楽しい時とはどんな時だったでしょうか。反対に楽しくない時はどんな時だったでしょうか。

- ◇楽しかったとき
- 一人一人の良さや能力が発揮されているとき
  - 一つの目的に向かってみんなが協力しているとき
  - みんなが自由に発言することができ、その発言をみんなが真剣に受けとめてくれるとき など
- ◇楽しくなかったとき
- みんながバラバラで、好き勝手に行動しているとき
  - 不正がホームルームでまかり通っているとき
  - このような中でも何も言えず、何もできない自分を見るとき など

みんなが自己中心的であったり、無関心であったりすると、楽しいホームルームを作っていくことは、非常に困難になります。次の様な点をホームルーム活動の柱として力を合わせて、楽しいホームルームをつくりあげてください。

#### ア 行事をひとつひとつやり抜いていこう

学校祭などが最大の行事です。取り組むに当たって意義を共通理解し、準備活動、そして実践とひとつひとつを丁寧にみんなで話し合いながら進め、やりとげていくことが大切です。中学時代以上に丁寧にダイナミックに行事をやり抜いてください。

#### イ 学び合いの雰囲気をつくろう

中学校でも、クラス全員がベル着席をするためにクラスメイト同士で声をかけ合ったり、わからない所を一緒に勉強したりしてきたと思います。高校の授業は中学校と比べ、学習内容のレベルは高く、量も多くなり、クラス全体が学習に向かう姿勢を作ることが、より重要になります。一人では乗り越えることが難しい壁も、仲間同士で支え合えば、乗り越えることができます。クラスの中に学び合いの雰囲気を作って、クラス全体が学習に向かい、クラス全体の学力や能力が上がるように学習活動に取り組んでください。

### (2) 生徒会活動

本校では、体育祭や文化祭など、多くの学校行事で、生徒たちが自ら企画・運営に携わっています。そして全校生徒の声を聞き、想いを形にしていくのが生徒会の役割です。

朝のあいさつ運動、ボランティア活動などでも活動の中心を担い、活躍の場は多岐に渡ります。

### <生徒会執行部方針>

- ア 自主的な活動で学校生活の向上を図る
- イ 各行事を盛り上げる
- ウ 全校生徒と生徒会役員の連携を図る
- エ ボランティア活動の活性化（地域との交流やSDGsの実現）
- オ 部活動の活性化

以上の方針を受け、生徒会本部役員を中心に様々な活動を行っています。

- 学校生活の充実を図る活動（あいさつ運動、募金活動、目安箱など）
- 生徒会行事（新入生歓迎会部活動紹介・生徒総会など）、部活動や各種委員会などの運営及び支援に関する活動
- 学校行事（体育祭・文化祭・球技大会等）への協力に関する活動
- 生徒会が発行するものについての活動（生徒会新聞など）
- 生徒会会則の見直し活動

生徒会 本部役員（会長・副会長・総務・広報・・・中心になって運営）  
協議会（各クラスから2名の議員により構成され、諸活動について討議・決定）  
常任委員会（美化・保健・学芸・図書・体育）  
各種委員会（体育祭実行・文化祭実行・選挙管理等）

### (3) 部活動

部活動は、学級や学年の枠を超えて、生徒が自主的・自発的に集い、顧問の指導のもとで個人や集団としての目的や目標を持ち、切磋琢磨することを通じて、人間関係の大切さ、組織を機能させることの重要性を学ぶことができるものであると考えます。

また、スポーツや文化及び、科学等に親しみ、学習意欲の向上や責任感、連帯感を身につけるうえで効果的な活動であり、本校では大変重視しています。

特に、1年次は「部活動に全員登録する」として、部活動への参加を推奨しています。

#### ア 活動時間

- 長くとも平日は3時間程度（朝練習を含む。）、土・日及び祝日は4時間程度
- 平常時は、午後6時45分を目処に活動を終了し、午後7時完全下校
- 考査開始一週間前から、考査終了までの部活動は原則禁止

#### イ 休養日

- 週当たり1日以上

○月当たり2回程度、土曜日または日曜日に休養日を設定

○公式大会等の翌日に休養日を設定

〈運 動 部〉

ソフトテニス、バスケットボール、卓球、柔道、陸上競技、剣道、サッカー、バドミントン、  
バレーボール、硬式野球、ボート

〈文 化 部〉

科学、美術、書道、吹奏楽、写真、茶道、英語、放送メディア、華道、パソコン、ボランティア、  
SF（イラスト）